

景気動向指数
平成 26 年 7 月分（速報）の概要

7月のC I（速報値・平成22年=100）は、先行指数：106.5、一致指数：109.9、遅行指数：117.5となった。（注）

先行指数は、前月と比較して0.6ポイント上昇し、2か月連続の上昇となった。3か月後方移動平均は横ばい、7か月後方移動平均は0.79ポイント下降し、5か月連続の下降となった。

一致指数は、前月と比較して0.2ポイント上昇し、2か月ぶりの上昇となった。3か月後方移動平均は0.40ポイント下降し、4か月連続の下降、7か月後方移動平均は0.28ポイント下降し、2か月連続の下降となった。

遅行指数は、前月と比較して0.8ポイント下降し、3か月ぶりの下降となった。3か月後方移動平均は0.10ポイント下降し、2か月連続の下降、7か月後方移動平均は0.42ポイント上昇し、51か月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

景気動向指数（C I一致指数）は、足踏みを示している。

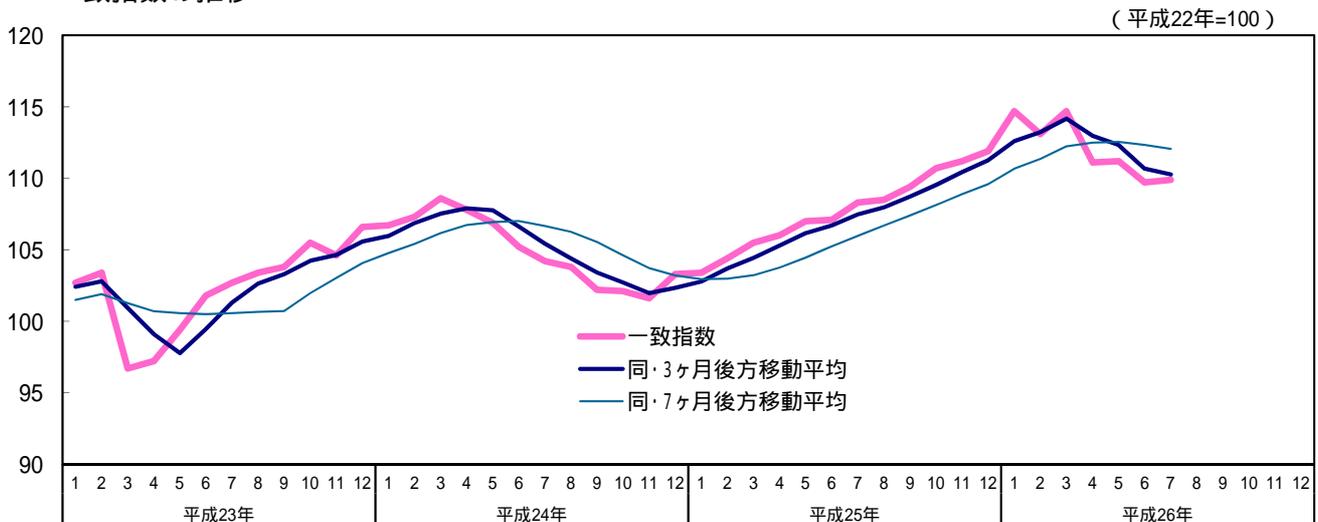
一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	0.32	C5：所定外労働時間指数(調査産業計)	-0.20
C2：鉱工業生産財出荷指数	0.11	C11：有効求人倍率(除学卒)	-0.12
C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	0.10	C3：大口電力使用量	-0.11
C10：中小企業出荷指数(製造業)	0.10	C4：耐久消費財出荷指数	-0.10
C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	0.04		
C1：生産指数(鉱工業)	0.02		
C9：営業利益(全産業)	0.12		

「C9 営業利益（全産業）」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。

なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）原則として、公表日の3営業日前（平成26年9月2日（火））までに公表された値を用いて算出している。

なお、「法人企業統計季報」関連の4系列（「L10 投資環境指数（製造業）」に用いる「営業利益（製造業）」及び「総資本額（製造業）」、「C9 営業利益（全産業）」、「Lg3 実質法人企業設備投資（全産業）」に用いる「法人企業設備投資（全産業）」）については、内閣府にて独自に季節調整替えを行った後、平成26年7月分速報からの改訂状況の公表時に平成26年4～6月期分までの値を反映させる。